



← ボランティアお問い合わせ・ご登録はこちらから！

お子さんのご参加お問い合わせ・ご登録はこちらから！→



日本語指導が必要な 外国にルーツをもつこども達の学習支援事業 ーもりやまこども日本語学習クラブー

ようこそ、こどものひろばへ！

実施内容



こどものひろば（学習会）

- 日時 | ①毎月3回 土曜日の2時間（2022年7月より）
②毎月1回 平日夕方2時間（2024年7月より）
- 場所 | ①守山市立図書館 集会室
②守山市木浜自治会館
- 実施内容 | ・こどもたちの持ち寄った宿題ややりたい勉強をサポート
・トランプ、ゲームやおしゃべりなど、リラックスタイム
- 参加しているこども達 | 守山市内外より毎回5～7人程度
小学校入学前から高校生など様々な年齢層で
日本語レベルも初心者から会話に不自由しないレベルまで、
様々なバックグラウンドのこども達が参加しています。
- 参加ボランティア | 毎回5～7人程度
高校生・大学生から定年退職された方まで、幅広い年齢層・
バックグラウンドの方々が、様々な経験・知見を活かして
ご協力下さっています。



【こども達の声】
「こどものひろばは楽しいです。
一番印象に残っているのは、先生
たちと一緒に夏祭りに行ったこと
です！日本の浴衣を着ました。――
先生たちはとても丁寧に私たちに
日本語を教えてくれてとても感謝
しています。」
「トランプとかんじてほめられて、
うれしかったです。」
「先生も一緒に勉強する友達も優
しいです。私はここがとても好き
です。」

【ボランティアさん達の声】
「明るく元気なボランティアの皆
さん、素直で一生懸命な子ども達
と楽しい時間を過ごしています。
色々な出身の子ども達が一緒に遊
んでいる姿はとても微笑ましいで
す。」
「勉強したりゲームをしたり、と
ても楽しい時間を過ごすことがで
きます。気軽な気持ちで参加でき
ることが嬉しいです。」
「何度か参加するうちにスタッフ
内の交流もできて毎回楽しんでいます。」

どんなこどもたちにも無限の可能性があり、明るい未来を夢見ることは当然の権利です。しかし、十分な教育支援がないことで、こどもの学力や進路に格差が生まれることも確かです。社会の多様化が進み、外国にルーツを持つご家庭も増える中、日本語でじっくり学習に取り組む体験が十分になく、「勉強が分からない、宿題ができない」というこども達がこの地域にも増えてきました。そういったこども達をサポートしたいという想いから、この活動をスタートしようと考えました。

守山市内の公立小中学校で日本語指導員の支援を受けているのは15名程度（2022年5月現在）。会話ができて支援が必要ないと思われるこどもでも、日本語に触れる体験が不足していると、学年を追うごとに日本語での学習格差が開いてきてしまいます。そんな中、日々の宿題や学習で分からないところを落着いて地域の人と一緒に取り組める場があれば、こども達にとって日本語や日本社会に親しみ学習を進める上で一助になると考えています。こどもたちが将来に希望を持ち、望む進路を実現していく地域づくりに貢献できればと願っています。



活動からの学び

私たちは、塾や学校ではありません。こども達に日本語や教科内容を教えるプロ集団ではありませんが、来日して間もないこども達の日本語学習から受験を控えたこども達の学習も含めてサポートを行ってきました。はじめはほとんど日本語を話すことができなかったこどもがボランティアさんと笑って一緒に話ができるようになる姿や、実現したい進路を考えそれに向かって努力することも達の姿を見守り応援することができ、本当に嬉しく思っています。そんなこれまでの経験から、私たちの活動にとって大切なのは、こども達が地域の方々と一緒に楽しくゆったり学べる場をつくることであることを学びました。そんな場があることが、こども達がこの地域に安心して根を張り、ここで頑張って学ぼうという原動力を生む素地になればと願っています。今後も、笑顔で挨拶しあうこと、声をかけあい会話すること、お互いにゆっくり話を聞くことなど、人と人の交流のための基本を大切に温かな学びのコミュニティを築いていけたらと考えています。



今後の課題

- ①より多くのニーズあるこども・ご家庭に事業を知ってもらい参加してもらいたい
高校生になった、部活動が忙しかった等、本事業を「卒業」するこども達が毎年出てくると同時に、ニーズのあるこども達が新たに地域に入って来られます。この事業について知ってもらい参加してもらうための継続的な働きかけが必要です。
- ②より多くの地域の方に事業を知ってもらい、参画してもらいたい
この活動の継続には、地域の皆さんにボランティアとして多様な力を発揮頂くことが不可欠であり、引き続き、地域の方に本事業について知ってもらうための働きかけが必要です。
①②を達成するため
学校を通じた対象児童・生徒へのチラシ配布や図書館・公共施設でのチラシ掲示、クリスマス会や国際交流のひろばなどのイベントを通じた広報に努めていきます。
- ③独自の資金基盤を構築したい
事業の継続・拡充のためには、助成金だけに頼らない独自の資金基盤が必要です。今年度より開始した賛助会員制度についても広報を行い、資金基盤の構築に努めます。



遠足・イベント

毎年2、3回程度、地域や日本語に親しむイベントや遠足を企画しています

- 昨年度の実施内容
 - ①琵琶湖博物館への遠足（8月）
 - ②クリスマス会（12月）
 - ③国際交流のひろばへのブース参加（3月）
- 今年度は以下のイベントを実施（予定含む）
 - ①環境センター遠足（8月7日実施済）
 - ・滋賀県の環境と環境問題について、訪問・体験型で学習する
 - ・参加者：こども11名・保護者6名・ボランティア・スタッフ7名
 - ②甲賀忍者村への遠足（11月）
 - ・楽しみながら日本の歴史と文化に親しむ
 - ③クリスマス会（12月）
 - ・一般の参加者と一緒に、ゲームやクラフト、書初めを楽しむ